

生活がわら版



花粉症(季節性アレルギー性鼻炎)

日本には花粉症を引き起こす草木がたくさんあります。そこで今回、九州地方で4~6月に主に飛散する草木スポットをあてて紹介します。



スギ

〈スギ〉 スギ花粉により花粉症が出る人は、日本で最も多いです。日本にはスギの木が多いことも、花粉症患者を増やしている原因の一つでもあります。



〈ヒノキ〉 スギの花粉症である人はヒノキにも花粉症状が起こる人が多いです。このような人は症状が重症化することもあります。



ヒノキ



カモガヤ

〈カモガヤ〉 イ木科の植物の中でもアレルギー発症率が非常に高くなっています。畑や道端、最近では山地などでも確認されており、子供の花粉症に多くみられます。

〈コナラ〉 ガナ科の一種で風によって花粉をめしべまで運ぶ風媒花になります。建築や薪炭などに利用され、日当たりの良い山地に植林されています。



コナラ



1月に入るとすぐにスギ花粉の初観測がみられ、4月下旬まで飛散がみられます。3月の中旬にはスギ花粉飛散のピークを迎え、3月中旬よりヒノキ花粉の飛散が始まります。4月に入るとヒノキ花粉の飛散は急激に少なくなり、ガナ科、イチョウ科、カバノキ科などの花粉が揃って飛び出します。そして5月はマツ科、イネ科の花粉飛散がはじまります。くしゃみ・鼻水・涙目など、少しでも身体に違和感を感じたら、まず自分が花粉症なのかどうか、そしてどんな植物の花粉にアレルギーがあるのかを知ることが、花粉対策の第一歩です。